令和７年１月５日（日）≪午前≫
第 13 期Ａコース研修生　「ゼミナール④（アウトライン発表会）」

１月 23 日（木）からオーストラリア又はニュージーランドへ留学する、第 13 期Ａコース研修生対象の最後のゼミナールが開催されました。

今回は、これまでのように決められた班ごとに集まってのグループ協議形式ではなく、自分がこれから研究する内容をアウトラインとしてまとめ、本日のために新たに組まれた 11 人程度のグループに分かれて発表し合う形式で実施されました。

これまで慣れ親しんだ同じ班のメンバーではなく、新しいメンバーに対して発表することで、緊張感も増し、自身の研究内容をより一層深める良い経験となりました。

１人当たり、発表に４分、質疑・応答に３分、担当指導者からの講評が２分、そして発表者に対するメッセージを記入するアドバイスシートを書く時間として１分の合計 10 分です。司会や計時係も持ち回りで研修生たちが行いました。パソコンを持参し、プレゼンテーションソフトを使って発表する研修生もおり、それぞれ工夫しながら、留学先でも継続して行う自身の研究内容を堂々と発表することができました。

本日発表したアウトラインの内容に、協議や講評で得たアドバイスを参考にして、研究内容に更に磨きをかけ、最終的に作成する論文の完成に向けて、それぞれ留学先での調査や研究が始まります。自分で選んだテーマだけに、頑張って良い内容の論文に仕上げてほしいと願っています。

令和７年１月５日（日）≪午後≫
第 13 期Ａコース研修生　「直前オリエンテーション」

留学を間近に控えた第 13 期Ａコース研修生を対象に、東京都教職員研修センター視聴覚ホールにて、研修生及び保護者の方が同席した直前オリエンテーションが実施されました。第 13 期Ａコースの研修生は、オーストラリアの南オーストラリア州及びクイーンズランド州、そして、ニュージーランドを留学先としています。

はじめに、東京都教育委員会からの挨拶があり、これまでの研修を振り返るとともに心構えを含め留学に向けての激励がありました。

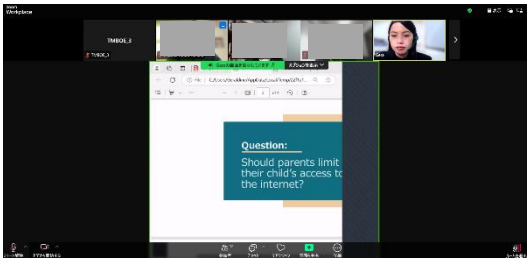
第一部では、次世代リーダー育成道場として身に付けて欲しい資質・能力を示しながら、国際舞台のリーダーとしての将来の展望についてのお話、留学を成功させるための心構えについて助言がありました。さらに、次世代リーダー育成道場の修了に向けて、規則等について改めて確認した上で、留学中の生活の様子や健康状況について定期的に報告する方法、ゼミナール研究の報告、帰国後の単位認定等についての説明がありました。

その後、留学先別（オーストラリア又はニュージーランド）に分かれて、出発当日、留学行程、連絡体制とい

った留学生活の心構え、さらに、ホストファミリーとの間で起こったより具体的な現地での困り事に関する事例の紹介をしながら、現地生活、家庭生活での安全管理、健康管理を含めた異文化生活に適応するためのアドバイスがありました。研修生も保護者も実際の留学に向けて準備等のモチベーションを高めました。

オリエンテーション終了後には、個別質問ができるブースが設けられ、留学に向けた準備等についてさらに具体的な質疑応答が行われました。また、７人の次世代リーダー育成道場修了生がボランティアで集まり、留学を控えた研修生たちに留学先でのこと、帰国後のことなど、具体的なアドバイスを送ってくれました。修了生の皆さん、お忙しい中集まってくれて、本当にありがとうございました。

令和７年１月５日（日）≪午前≫
第 13 期Ｂコース研修生　「英語②」（オンライン実施）



「英語②」の講義は、研修生たちがアカデミックなテーマについて、スピーチやディスカッション、ディベートを行う上で必要となる力を身に付けることを目的に実施されました。

研修生たちはそれぞれの希望に基づき決められた、３つの講義を受講しました。

講義のテーマは、以下のとおりです。

講義１　効果的なコミュニケーションやプレゼンテーションについて
講義２　文化交流における褒めることの重要性について
講義３　総合的（身体的・精神的・社会的）な健康を維持・達成するためには
講義４　グローバルな視点に立ったリーダーシップとは
講義５　SDGs に関する基本的な情報の理解と行動（英語によるプレゼンテーション）
講義６　文化人類学における英語実践
講義７－１　人文科学と社会科学の主要な概念の探求及びディスカッション
講義７－２　自分のアイデンティティと願望に関するディスカッション
講義７－３　歴史上の重要な出来事とそれらが現代社会に与えた永続的な影響

講師からの問いに英語で答えたり、意見を述べ合ったりすることを通じて、スピーチやディスカッション等に必要な「話す力」を高めることができました。どの講義においても、研修生は一生懸命に取り組んでいました。

研修終了後の研修生の感想を紹介します。

〇最初にスピーチやディベートを行う際のキーポイントを学び、それに基づいて自分の意見を考え発表したことで、スピーチに対する苦手意識を少し減らすことができたと思います。【講義１】

〇文化が違うことでここまでも褒め言葉の意味が変わってしまうのか、と衝撃を受けた。また、「褒める」ということは相手と関係を持ちたいという考えの現れだと教えられて、褒められた時の返事などを考えることができた。【講義２】

〇一見あまり関連性のなさそうな、リーダーシップと健康が、様々な面で繋がっていくのがとても面白かった。【講義３】

〇自分たちに問いかけられることが多く、リーダーシップとは何なのか、リーダーシップをとる上で重要なことは何かなど、すごく深く考えさせられてよかった。【講義４】

〇自分がどの目標が一番大切だと思うかを話し合い、専門的な単語も交えながら発表することができた。また、先生が積極的に発言できるように工夫してくれたことで反応などがしやすかった。【講義５】

〇一人一人必ず話せるような環境だったのがよかった。日本語で言う現代国語のような難しい講義をイメージしていたが、実際には文章も読みやすく、面白い内容だったので楽しかった。【講義６】

〇伝統的な文化の種類について学び、時代背景により文化の種類分けをし、その文化が変わるかどうかを議論した。日本の文化について知ることができる良い機会となった。【講義７－１】

〇様々なアイデンティティの種類を知り、時代を通じたそれぞれの重要性の変化などについて学んだ。自分にとって重要なアイデンティティとは何かを考えたことで、自分だけが出せる独特さとは何かを考えるきっかけになった。【講義７－２】

〇ユダヤ人の歴史についてのお話が面白かったです。これまでは歴史を学ぶ意味についてあまり考えてこないでただ面白いからという理由で学んできましたが、少しだけ私たちが歴史を学ぶ理由がわかったような気がします。【講義７－３】